

# 第4回 道の駅よこはまエリア事業推進協議会 議事要旨

日時：平成29年10月20日（金）14:30～16:00

場所：ふれあいセンター大集会室

## 【規約の一部改正について】

- ・協議の対象が、ソフト施策とされているが、実際ハード整備についても議論されることから、その旨、規約に追加したい
  - ⇒ 全員異議なし

## 【基本計画の今年度の取り組みについて】

- ・防災機能強化のハード整備について、説明会等の開催状況、参加状況、今後のスケジュール、用地の関係者数について伺いたい
  - ⇒ 説明会については、昨年度、横浜北バイパスの説明会の中で実施しており、参加者は20名程度。今年度、測量、設計、用地買収を実施し、来年度から工事着手の見込み
  - ⇒ 用地買収については、今週から着手している。15名程度の関係者がいる
- ・集荷、宅配サービスを行うぐるっと隊について、サービス料金の有無、ぐるっと隊の運営費をどうまかなっているか、利用者数、来年度以降の動向について伺いたい
  - ⇒ サービス料は無料、運営費は県の補助金を充当して実施している。利用者数は現在で把握していない（次回の協議会に報告できるようにする）。来年度以降、継続していくかは模索中である
  - ⇒ 次年度以降も是非続けてほしい。サービス料を徴収してもなかなかそれだけではサービスは成り立たない。サービスが成立するかどうかの判断のためにも利用者数は常に把握して取り組んで行って欲しい。

## 【インターンシップ報告】

- ・レストランのメニューを改善するという報告があったが、横浜の町のものがないというも思っていた。ホタテの刺身とか。どんなメニューに改善するのか決まっているのか？
  - ⇒ レストランのメニュー表を改善しているところ。なにがオススメかとか、どんな料理家だとか。ただ今後、取り入れようとしているビュッフェ方式が採用されれば、作業が軽減化され、季節メニューの取り入れなど臨機応変に対応できていくと考えている。

## 【八工大武山教授より意見】

- ・取り組みが進んでおり、サービス提供者と住民の間にいろんなネットワークが形成されてことがうかがえる
- ・産直の農産物は、売れる時期に売ることが大事なので、品薄になった時期に売れば、

なお良い

- ・ レストランのメニューについては、町内と町外のニーズは違うと思われる。たとえば、町内のひとはホタテが美味しい時期を知っており、その時期に食べた。町外（自分）であれば、横浜町に来たら常にホタテを食べたい。対象を考えメニューを考えるのが大事
- ・ いろんなサービスを通じて、高齢者の見守りが実施されているが、サービスを利用していない人をどう見守っていくかというのが今後重要になる
- ・ 課題を丁寧にくみ上げ、解決していくことが重要

#### 【弘大平井准教授より意見】

- ・ 今年度もインターンを受け入れてもらってありがとうございます。今回は、参加者が卒論のテーマとして来年度も取り組んで行くので継続的に取り組んでいけると思う
- ・ 昨年度は、いろんなサービスの運営方法をワーキングで議論したので今年も是非活用してほしい
- ・ 集荷サービスは、全国的に取り組み始めているが、手数料のみでは運営できずに継続していくのは難しい。しかし、継続させていくことが重要で、利用者に、サービスは常に回っていると思ってもらうことが大事
- ・ サービスを実際活用されている人の感想など届いていますか？
  - ⇒ 温泉バスの利用が少ないのは、温泉を利用する人が少ないからだ。むつのマエダの買い物バスや野辺地の病院の送迎バスが利用勝手もいいし、周知もされているので広く使われる。町の温泉が無料だとか送迎バスがあるかだとか知っている人が少ないのでもっと広報すべき
- ・ 道の駅への送迎バスについて滞在時間が短いとかいう意見がありました・
  - ⇒ そういった声もあったので、10/1より運行ダイヤを改善して運行している

—以上—